

旺文社のシリーズ「素顔の勇者たち」最新刊

『上原浩治 闘うピッチャー魂』

メジャーリーグ挑戦を表明した“雑草魂”のエース 誕生とその後の軌跡

教育出版社の株式会社旺文社(本社:東京都新宿区 代表取締役 赤尾 文夫)は、小中学生向けの児童書でトップアスリートの生き方を描いたシリーズ「素顔の勇者たち」の最新刊として、『上原浩治 闘うピッチャー魂』を2008年4月25日(金)に刊行いたします。

【出版概要】

書名: シリーズ「素顔の勇者たち」
『上原浩治 闘うピッチャー魂』
著者: 鳥飼 新市
発行: 旺文社
体裁: 四六判・上製、160ページ
価格: 本体1,000円(税込 1,050円)
刊行: 2008年4月25日(金)
対象: 小学生(中学年)～中学生
ISBN978-4-01-072558-0



<http://www.obunsha.co.jp/shoshi/symfony/show/code/072558/side/default>

【本書の紹介】

「素顔の勇者たち」は、世界で活躍するトップアスリートの誕生とその後の軌跡を追った、人気の児童書シリーズです。今回は、先日メジャーリーグへの挑戦を表明した上原浩治選手を取り上げました。

リトルリーグ・ポニーリーグ(小中学生の硬式野球連盟)出身でもなく、甲子園にも出場したことがない上原選手は、1999年の流行語大賞にも選ばれた“雑草魂”の精神で、読売ジャイアンツを支えるエースになりました。北京オリンピックの日本代表にも選ばれ、星野仙一監督に「たいした男だ」と言わしめた彼の姿から、「何事も努力し続ければ、夢はかなう」ということが伝わってくる内容です。

『プロ野球の選手になりたいというのは、ぼくも子どものころは「夢」でしかなかった。でも、野球が好きで、うまくなりたいと思って、毎日つづけているうちに「夢」がいつのまにか「目標」になり、ついにそれを実現することができたんだ』(本文より)



小学校の卒業文集。「ぼくの夢は甲子園」という題で、野球を思いっきり楽しみたいという浩治の気持ちが書かれている。

【目次】

『上原浩治 闘うピッチャー魂』

- ・ 「我慢」の刺しゅう
- ・ はじまりは新聞紙のボール
- ・ 団地の壁が練習場
- ・ 楽しみは日曜日の試合
- ・ この一回のマウンドに
- ・ オレはやっぱり投手でやる！
- ・ 19年ぶりのルーキー20勝
- ・ 日の丸をせおって
- ・ 大好きな野球のために
- ・ 上原浩治データファイル



闘争心が強く、デビュー当初はカッと頭に血がのぼりやすかった。そんなとき、当時バッテリーを組んでいた村田真一捕手がマウンドに飛んできて「上原、がまんだ」と声をかけてくれた。それ以来、上原選手のグローブには「我慢」の刺繍が入っている。



以上

【会社概要】

社名： 株式会社 旺文社
代表者： 代表取締役社長 赤尾 文夫
設立： 1931年10月1日
本社： 〒162-8680 東京都新宿区横寺町 55 TEL：03-3266-6400
事業内容： 教育・情報をメインとした総合出版と事業
URL： <http://www.obunsha.co.jp/>

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社旺文社 広報担当：三澤・山縣
TEL:03-3266-6292 FAX:03-3266-6045 E-mail:pr@obunsha.co.jp

(参考) = = = = =

旺文社の シリーズ「素顔の勇者たち」

<http://www.obunsha.co.jp/shoshi/list/show/series/J120/side/CategoryJidosyozukan>

= = = = =
本シリーズは、トップアスリートを取り上げ、その生き方から、子どもたちに夢を与え、将来を考えてもらうことをコンセプトに作られています。

仕様: 四六判・上製、144～160ページ 1色刷(巻頭8頁カラー)

定価: 各1,050円(本体1,000円) **対象:** 小学校(中学年)～ 中学生

「イチロー 努力の天才バッター」

野球ファンだけではなく、誰もが知っているスーパースター・イチロー。前人未到の新記録をいとも軽々と打ち立てる天才打者イチローは、努力の人だった! 「継続は力なり」をモットーに、野球一筋に打ち込んできたイチロー少年の成長の物語。



「イチロー2 メジャーにはばたく夢」

日本を飛び出し、初の日本人野手として念願のメジャーリーグで活躍するイチロー。1年目からの数々の栄光の背景には、渡米に向かって具体的な夢を描き、その実現のために着実に準備を続ける姿があった。メジャーに渡ってからのイチローの苦労と栄光を追ったノンフィクション。



「中村俊輔 世界へはなつシュート」

誰よりも練習すること、目標を持ってあきらめないこと。その一步一步の努力が、黄金の左足からはなたれる、絶妙なフリーキックを生んだ。中学時代、身長が伸びなくて悩みながらも、へこたれずにテクニックをみがきつづけた俊輔。そして、身長がぐっと伸びた時、その努力は報われた。日本代表メンバーの若きヒーロー・中村俊輔のサッカーにかける青春。



「小野伸二 ベルベットパスへの軌跡」

サッカーが大好きで、負けずぎらいの泣き虫少年だった伸二は、さまざまな経験を吸収して世界へとはばたいていった。オランダの名門チーム・フェイエノールトに渡っても、いつも絶妙なパスを繰り出しつづける、小野伸二の物語。



「高橋由伸 華麗なるスラッガー」

野球エリート街道をひた走ってきた由伸選手。野球大好き少年が、読売ジャイアンツの強打者になるまでのたゆまぬ努力と活躍の日々を描く。



「松井秀喜 メジャーにかがやく55番」

2003年に念願のメジャーリーグ入りをはたした松井秀喜。幼少期からジャイアンツ時代にいたるまでの軌跡と、メジャー1年目の活躍を軸に、松井の野球にかける情熱と、それに向き合う真摯な姿勢を描き出すノンフィクション。



「清原和博 夢をつらぬく情熱のバッター」

子供のころより体格に恵まれ、リトルリーグ時代からすでに「怪物ぶり」を發揮していた清原和博選手。幼少期からこれまでの野球人生を振り返りつつ、野球にかける情熱、夢、未来へのビジョン、ファンへの熱いメッセージが語られるノンフィクション。



「北島康介 世界最速をめざすトップアスリート」

アテネオリンピックで2つの金メダルを獲得し、押しも押されもせぬトップスイマーとなった、北島選手。水泳を始めた幼少時代より現在まで、何を思い、いかにして実績を出してきたのか、その軌跡と、将来へ向けてさらなる前進を求める姿を追う。



「宮里藍 世界にはなつミラクルショット」

女子プロゴルフ界で大活躍中の宮里藍選手。長年にわたり宮里選手への取材を重ねてきた著者が、輝く笑顔と華々しい戦績の裏にかくれた、家族の熱いドラマ、苦労・努力の軌跡、そして将来の夢までをたどります。

